乾杯：二揚

かたーいきぎすなに おもいをよせて

かたりつくせぬ

せいしゅんのひび

ときに

四 四 四

上 中 工

中 王 老

○

上

上 中 工

工 六 六

六 六 六

六 七

は きぎつき

ときには

よろこび

かたをたたきあつた

あのひ

五 五 五

五 六 工

工 工 工

六 七 五

五 五 五

上 王 工

合 工 工

○

あれからどれくらい たったの だろう

しずむゆうひを

いくつかぞ

えたらうふるき

四 四 四

上 中 工

中 王 老

○

上

上 上 上

工 六 六

六 六 六

六

との とも は

いまでも

きみの

こころの

なかにいますか

かん

五 五 五

五 五 六

工 上 上

六 五 五

五 五 四

上 王 工

合 工 工

老 老 老

ぱい いまー

きみは

じん せい

のおおきなーおおきなーぶたいに

た ち

はる

四 ○ 四 上

乙

老

老

工

工 五 六

六 六 七

五 王 五

中 四 四

老 老

かながいみちのりをあるきはじめたきみにしあわせあれ

四 四 四

老 乙 合 老

老 上 工

工 五 六

四 五 四

四 五 工

合 工 工

○

六 四 四 六 五 四 四

六

八

六

五

五

工